

入試年度	2026年度	入試時期	I期入学試験	実施日	2025年9月26日
課程	博士前期課程	研究科	国際日本学研究科	専攻・コース	国際日本学専攻 日本語学・日本語教育学研究領域
入試方式	一般入学試験/ 外国人留学生入学試験		試験科目	専門科目	

「出題の意図」および「解答」または「解答例」

【出題の意図】

日本語学・日本語教育学研究領域において研究を遂行するために必要となる日本語学・日本語教育学に関する基礎的知識や能力を有しているかを問う。

【解答例（採点時の観点）】

I. 論述問題

(1)

キーワード：

検索／共起／用法／多義性／類義語

評価の観点：

- ・適切なコーパスを選択し、その検索方法を工夫しているか。
- ・共起（コロケーション）情報に注目した用例の分析や、用法の分類を説明しているか。
- ・語の多義性を考慮し、類義語との関係に目配りをしているか。

(2)

キーワード：

母語の転移／語の意味的透明性／日本語習熟度／未知語／付随的語彙学習

評価の観点：

- ・語彙学習・習得の方法やプロセスについて説明しているか。
- ・推測や習得の成否に学習者要因と言語要因が関わることに触れているか。
- ・関連する先行研究の知見に言及しつつ、自身の見解を述べているか。

II. 解説問題

(1)とりたて

キーワード：

焦点／副助詞／係助詞／とりたて詞／作用域

評価の観点：

- ・文中の要素のいずれかに焦点を当てる述べ方を問題にしているか。
- ・副助詞や係助詞など具体的な取り立て詞に言及しているか。
- ・「限定」「累加」「特立」といった意味を説明しているか。

(2)社会方言

キーワード：

言語変種／社会的属性／位相語／集団語／役割語

評価の観点：

- ・地理的要因に基づくもの以外の同時代の言語変種を問題にしているか。

- ・社会的属性の違いによる位相語や集団語の具体例を挙げているか。
- ・役割語など言葉のステレオタイプに言及しているか。

(3) プロトタイプ理論

キーワード：

古典的カテゴリー観/Rosch/典型例/境界の曖昧性/多義語

評価の観点：

- ・古典的カテゴリー観との違いに言及しているか。
- ・カテゴリー成員の連続性やカテゴリー間の境界の曖昧性に触れているか。
- ・多義語の意味分析や語彙習得の順序との関係について事例を挙げて説明しているか。

(4) 意味的透明性

キーワード：

語形成/意味の総和/全体の意味/意味推測/語彙習得

評価の観点：

- ・合成語の全体の意味と各要素の意味の総和との関係について言及しているか。
- ・意味的透明性の高い語と低い語を対照しながら具体的に説明しているか。
- ・語彙習得や意味推測に関わる要因となり得ることに触れているか。

合否判定の方法及び基準

入学試験は国際日本学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。